

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



… 新任 Dr のご紹介 …



さとい あきこ
里井 明子

診療科
麻酔科

趣味
美味しいものを
みつけること

先生から一言！

大学病院での研修を経て一般病院で勤務し、5月より市立芦屋病院の麻酔科に赴任いたしました。手術を受ける老若男女の患者さんに、少しでも安心していただけるよう、そして安全な麻酔を提供できるよう努力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

がんフォーラム2018

「大切にしよう、じぶんの体」開催のご案内

当院では、がんに対する知識の普及、啓発を目的としたがんフォーラムを毎年開催しており、今年は10回目を迎えます。

今年の特別講演には、自身もがんを患い、その後、患者会「よつばの会」を立ち上げ、同じ病を経験された女性のために、現在も精力的に活躍されているタレントの原千晶さんをお迎えします。

事前のお申込みは不要です。多数のご参加をお待ちしています。〈先着550名〉



日時 平成30年9月1日(土) 午後1時30分～4時(開場:午後1時)

会場 芦屋市民センター ルナ・ホール

問合せ先 市立芦屋病院 総務課 0797-31-2156(代表)

プログラム

「身体のチェックは健診・人間ドックで」 市立芦屋病院 病院長 西浦 哲雄

特別
講演

「大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～」

よつばの会 代表 原 千晶氏

入場
無料

7月1日(日) より **外科系救急**

24時間 365日 対応します！

外科系救急では当院の外科医、整形外科医又は
応援医師が診察を行います。 ※内科二次救急・小児科救急も従来通り対応しています。



脳神経センターの紹介

(脳疾患予防外来)

脳神経疾患に対する診療充実に取り組んでいます！

脳神経センター(脳疾患予防外来)は、安心・安全に社会生活をおくっていただけるよう、脳神経疾患の患者さんへの対応に力を入れて取り組むために平成30年4月当院に開設されました。

社会の高齢化とともに急速に増えてきた脳神経疾患である3つの疾患に特に力を入れています。

- ① 認知症疾患
- ② 成人てんかん(意識消失、ぼーっとする、もぞもぞするなど)…高校生以上
- ③ 神経変性疾患(パーキンソン病など神経難病)

これらの脳神経疾患は、生活に支障をきたし、また、自動車運転でのトラブル、介護負担面など社会でとりあげられる機会も多く、患者さん、ご家族で不安を感じておられる方も多いと思われます。



脳神経センター(脳疾患予防外来)では、

- ◆神経学的診察、画像検査、認知機能検査、脳波検査などで総合的に脳神経疾患を診断します。診断後は、一定期間お薬にてコントロールをさせていただきます。症状が落ちついてくれば、かかりつけの開業医からお薬を処方していただき、その後は半年から年1回程度当院で診察・検査を受けていただきます。
- ◆疾患を正しく理解していただき、治療と生活のアドバイスをします。
- ◆適切なリハビリテーション、介護保険や特定疾患などの必要な手続きを行います。
- ◆住み慣れた環境で生き生きとした生活が送れるよう、かかりつけ医との医療連携や在宅支援者との連携を行います。

脳神経センター(脳疾患予防外来)についてのお問い合わせは **市立芦屋病院 地域連携室**まで
0797-31-2156

人間ドックセンターの紹介

早期発見!! 年に1度は受診をしましょう!!

当院は平成24年の新病院オープンに伴い、人間ドック専用サロンを設けております。人間ドックの諸検査は午前中に終了し、お昼には栄養管理室自慢のランチをゆっくりご賞味いただき、午後からは健診結果の説明を医師より受けていただいております。

人間ドックの項目には、身体測定、血圧、心電図、眼科検診、聴力検査、血液検査(血球数、肝腎機能、脂質、糖質、B型肝炎・C型肝炎)、尿検査、便潜血検査、胸部低線量CT、腹部超音波検査、上部消化管内視鏡があります。女性にはマンモグラフィーを含む乳がん検診と子宮がん検診、男性には前立腺がん検診を行っております。オプション項目として、腫瘍マーカー、便中ピロリ菌検査、MRIによる脳ドック、胃がんリスク検診、骨密度測定、体液量測定を実施しております。人間ドックにより早期に病気を発見し、早期に対処することで健康寿命を延ばしましょう。



基本コース：50,000円

胸部CT・心電図・胃カメラ・腹部エコー・血液検査・尿一般検査・便潜血検査・眼科検査・聴力検査・乳がん検診(女性)・子宮頸がん検査(女性)・前立腺検査(男性)

オプション検査(有料)

脳ドック・ピロリ菌検査・胃がんハイリスク検査・腫瘍マーカー・骨密度検査・体液量測定

申込み&問合せ

平日 午後2時～4時30分 医事課検診担当 0797-31-2156

●あしやふるさと寄附金の記念品として、人間ドック費用一部助成もしくは、脳ドック・腫瘍マーカー費用免除をお選びいただけます。

※対象者・申請方法などの詳細は、市ホームページをご覧ください。

(HP) <http://www.city.ashiya.lg.jp/>

栄養管理室 よりお知らせ

熱中症に注意しましょう！



今年も暑い夏がやってきました。昨年は、全国的に5月及び7月～8月上旬にかけて最も暑い時期になりました。救急搬送者数も一昨年と比べ5月は21%増、7月は43%増を記録。30度以上の時間が30年前と比べ2倍以上になっています。また7月は梅雨の天候から一気に高温状態になり救急搬送が増加する時期です。

熱中症の症状には、たちくらみ・こむら返り・吐き気・集中力の低下などがあります。重症化すると過呼吸・けいれんをおこす場合もあり、早めの対処が必要です。

熱中症を引き起こす 3つの要因

環 境	気温が高い・湿度が高い・風が弱い・閉め切った屋内
からだ	高齢者・乳幼児・肥満・持病・低栄養状態・体調不良
行 動	激しい運動 不慣れな運動 屋外作業 水分補給不足

熱中症を予防するには、

- ①涼しい服装・木陰に入る・日傘や帽子の活用・水分や塩分補給・こまめな休憩などの行動をとりましょう。
- ②水分補給は、普段どおりの活動・食事量なら水や麦茶で補えますが、運動したときや多量の汗をかいたときは水分と塩分をとりましょう。
- ③熱中症かな？と思ったら経口補水液を活用しましょう。（市販品や家庭でも作れます。水1ℓに砂糖40g、食塩3gを追加します。）

そして、来年の夏にむけて暑さに強い体づくりにも取り組みましょう。歩行や運動前後に炭水化物（おむすび、いも、パン）や蛋白質（牛乳、ヨーグルト、チーズなど）は、体温調整機能の改善が期待できます。

※詳細は、環境省 熱中症予防情報サイト（www.wbgt.env.go.jp）をご参照ください。

各種行事のお知らせ

マチネーコンサート

※毎月1回日曜日に開催

日 時 ● 7月29 日(日) 午後2時30分から
場 所 ● 外来棟 4階 黄色いピアノ前
内 容 ● スーパーキッズピアニスト特集
問合せ ● 総務課



両親学級

※毎月第2土曜日開催

日 時 ● 7月14日(土) 10時～12時
場 所 ● 3階東病棟
内 容 ● お産の経過、赤ちゃんのお風呂(実習あり)
対 象 ● 妊娠22週以降の妊婦とパートナー(5組10名)
問合せ ● 3階東病棟(電話は午後1時～4時)



公開講座

時間 14時～15時30分 場所 芦屋市民センター401号室 参加費 1回 200円

日 程	内 容	講 師
7月7日(土)	出張！糖尿病教室	市立芦屋病院 糖尿病・内分泌内科 紺屋 浩之 医師 糖尿病教室スタッフ
8月4日(土)	高齢者に多い鼠径ヘルニア (脱腸)について ～手術期のケアも含めて～	市立芦屋病院 外科 佐々木 亨 医師 手術看護認定看護師 濱田佐和子 看護師

問合せ：芦屋市立公民館 0797-35-0700

※9月はルナホールで毎年開催している「がんフォーラム」にお越しください。

糖尿病教室

問合せ先：
栄養管理室

※毎月第2金曜日開催

時間 13時30分～15時 場所 病棟2階 講堂Ⅰ 参加費 無料

日 程	内 容	講 師
	7月は公開講座にて開催します。	
9月7日(金)	治療・療養② 糖尿病と合併症 ～眼のことをもっとしろう！～ 食事療法② 外食や間食はどうすればいい？ ～上手な調整方法を提案します！～	眼科 管理栄養士

事業管理者のつづやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆

羊 と 鋼

わが家には小さいながらも一応グランドピアノがあります。ドイツ・ライプツィヒで製造されたブリュートナー(Blüthner)で、明るい木目の艶やかな輝きは見た目もなかなか魅力的です。ピアノは生き物ですからチューニング(調律)が必要です。専任の調律師が数時間かけて作業します。いつも黙って見流すというか聞き流していたチューニングですが、宮下奈都著「羊と鋼の森」(文藝春秋)を読んですっかり認識が変わりました。ピアノはいうまでもなく鍵盤で動くハンマーが弦を叩く仕組みなので、音楽事典的には有鍵盤打楽器に分類されるそうです。そのハンマーには羊毛からなるフェルトが使われていて、羊の育ち具合でフェルトの質まで変わるそうです。さらにフェルトを目の細かいヤスリで削ったり、針で何回も刺し、それも針を刺す位置、向き、角度、深さを工夫して、最適の弾力状態に持っていくそうです。

調律の第一歩は調律工具のピアノハンマーを用いてチューニングピンを回して音の高さを調節することから始まり、ピッチ、うなり等を調整し、整調、整音を経て作業が終了します。私はそれぞれのピアノに標準的な調律法があって、調律とはその標準状態に戻してやることくらいに考えていました。実はそうではなくて、ピアニストに応じて彼または彼女が求める最適の演奏ができるように調整するのが調律師の仕事だと「羊と鋼の森」を通して知りました。高校生がふとしたことからピアノ調律の道に分け入り、プロの調律師として成長

していく様を描いたこの小説で、調律の奥深さを知ることができました。「羊と鋼の森」とは、フェルトと弦で織りなすピアノの内部と調律の世界を森に見立てています。考えるまでもなく、医療においても標準的治療法を押し付けるのではなく、個々の患者の状態、希望、遺伝情報などを考慮して、患者が望む最適の治療を行うオーダーメイド医療の時代に入っています。

湊かなえの小説「物語のおわり」(朝日新聞出版)に写真家についての記載があります。「いくら技術が高くて、何も考えずにただ風景を切り取った写真では、見る人に感動を与えることはできない」「激しい波しぶきの小さな一粒にも躍動感を保たせたい」つまり、与え手に心がこもっていないと、受け手にそのインパクトが伝わらないのは、ピアノ調律師であれ、写真家であれ、小説家であれ、はたまた医療者であっても同じだと思います。

わが家のピアノは主がいなくなっても4年を迎えます。幻の弾き手に調律をする時期が今年もやってきました。(2018.7.1)



事業管理者のつづやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

交通案内

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から



タクシー
約7分



バス
約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番



徒歩
約30分

市立芦屋病院の理念

病院理念

あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>